

## 8-3-8 国際委員会

### 1. 主な活動の記録

#### (1) 委員会の体制

令和5年度は、委員長、副委員長2名と9名の委員からなる8社・12名体制で委員会の運営を行った。

#### (2) 施策と具体的行動目標

国際委員会は、中期行動計画2023～2026において施策「国際市場展開の推進」を担当。主として「国際市場展開能力の強化」を行動目標とした国際業務に関する情報提供等の活動を実施した。

#### (3) 委員会の開催

委員会は令和5年6、8、9、10月、令和6年1、3月の計6回開催した。

#### (4) 企画部会、常任委員会等への参加

月例の企画部会に参加し国際委員会の活動報告を行うとともに活動方針について協議を行った。また、国際委員会からの派遣委員として常任委員会に参加した。

#### (5) 海外業務に関する広報

建設コンサルタントの国際市場展開能力強化の施策として、国際コンサルタント市場を紹介する記事を協会誌の「国際委員会だより」に継続的に掲載し広報を行った。

- ・第53回 「海外業務参入への道しるべ（その3）」
- ・第54回 「海外業務参入への道しるべ（その4）」
- ・第55回 「開発協力大綱の改定にあたり～その1、改定の変遷」
- ・第56回 「開発協力大綱の改定にあたり～その2、改定のポイント」

#### (6) 「海外プロジェクトの事例紹介セミナー」の開催

協会会員企業の海外プロジェクトへの参入を促進することを目的に、国際委員会の委員所属企業のプロジェクト担当者が、海外プロジェクトの事例紹介を実施した。具体的には、海外プ

ロジェクトの業務内容、海外事業への参画に向けたポイント・課題、海外業務や現地の実情等の説明を実施した。あわせて、国際委員会の活動を紹介した。（令和5年11月13日、参加82名・44社）

- ・インドネシア インフラ復興セクターローンのための業務
  - ・マダガスカル 橋梁改良計画プロジェクト
  - ・カンボジア コンテナターミナル経営・技術向上プロジェクト
  - ・フィリピン、ネパール、モザンビーク 大規模災害対応支援業務
  - ・インドネシア アサハンNo.3水力発電事業
- (7) 令和5年度建設コンサルタント白書の執筆  
令和5年度建設コンサルタント白書の「2-5 海外事業環境」「4-9 海外事業の現状・課題を踏まえた競争力の強化」の部分について国際委員会が担当し、執筆を行った。「2-5 海外事業環境」の箇所では、世界のインフラ整備の需要と我が国のインフラ輸出戦略や、受注量と業務特性について言及し、「4-9 海外事業の現状・課題を踏まえた競争力の強化」の箇所では、多様化・拡大する国際市場への参入、国際契約約款への対応、今後の市場環境の変化に即した官民の連携、人材育成の強化について執筆した。

### 2. 次年度の活動について

令和6年度の活動予定は以下のとおりである。

- (1) 国際委員会の開催（原則隔月）
- (2) 企画部会、常任委員会等への参加
- (3) 協会誌の「国際委員会だより」の継続
- (4) 建設コンサルタント白書の部分執筆
- (5) ビジョン2025委員会への参加
- (6) 海外展開に関する情報収集
- (7) 海外進出促進施策の検討・調査・情報提供の実施（前年度に引き続き、セミナー、ワークショップの開催を予定）

（国際委員会委員長 佐々木 和嘉）